

熱線再帰フィルムを使用した 暑さ対策の実測調査を市立小学校で実施

～横浜市・デクセリアルズ(株)・(株)JVC ケンウッドによる公民連携の取組～

横浜市は、地球温暖化やヒートアイランド現象が引き起こす「夏の暑さ」による熱中症患者数の増加などの健康被害をできる限り減らすために暑さ対策の取組を進めています。

今回、横浜市、デクセリアルズ株式会社(※1)、株式会社 JVC ケンウッド(※2)の3者が連携して、上末吉小学校(横浜市鶴見区)で、新しい窓用遮熱フィルムである熱線再帰フィルムを使用した暑さ対策の実測調査を実施します。

※1 デクセリアルズ(株)： 熱線再帰フィルムの製造・販売を行っています。

※2 (株)JVC ケンウッド： 快適な環境づくりについて横浜市と包括連携協定を締結しており、ヒートアイランド対策の新技术である熱線再帰フィルムの販路開拓・検証を支援しています。

1 熱線再帰フィルムの概要 (裏面にイメージ図あり)

熱線再帰フィルム アルビード(デクセリアルズ(株)製)は、窓ガラスの内側に貼ることにより、室内に侵入する近赤外線(熱線)を遮へいして室内の暑さを和らげる効果に加え、遮へいした熱線を天空に返すことで屋外の地表に向かう熱線も低減する効果を持つものです。

2 熱線再帰フィルムによる暑さ対策の実測調査の概要 (裏面にイメージ図あり)

小学校の教室の窓ガラスに熱線再帰フィルムを貼った場合の、教室とグラウンドでの暑さ対策の効果を定量的に把握するため、下記の調査を実施します。

(1) 実施場所

横浜市立上末吉小学校(横浜市鶴見区上末吉5丁目24番1号)

(2) 実施期間

平成29年7月21日～8月25日

(3) 調査内容

上末吉小学校の教室の窓ガラスの内側に熱線再帰フィルムを貼り、フィルムを貼った教室と貼らない教室で、教室内とグラウンドでの暑さに関する項目を測定します。その結果を比較し、熱線再帰フィルムによる暑さ対策の効果を定量的に評価します。

(4) 測定項目

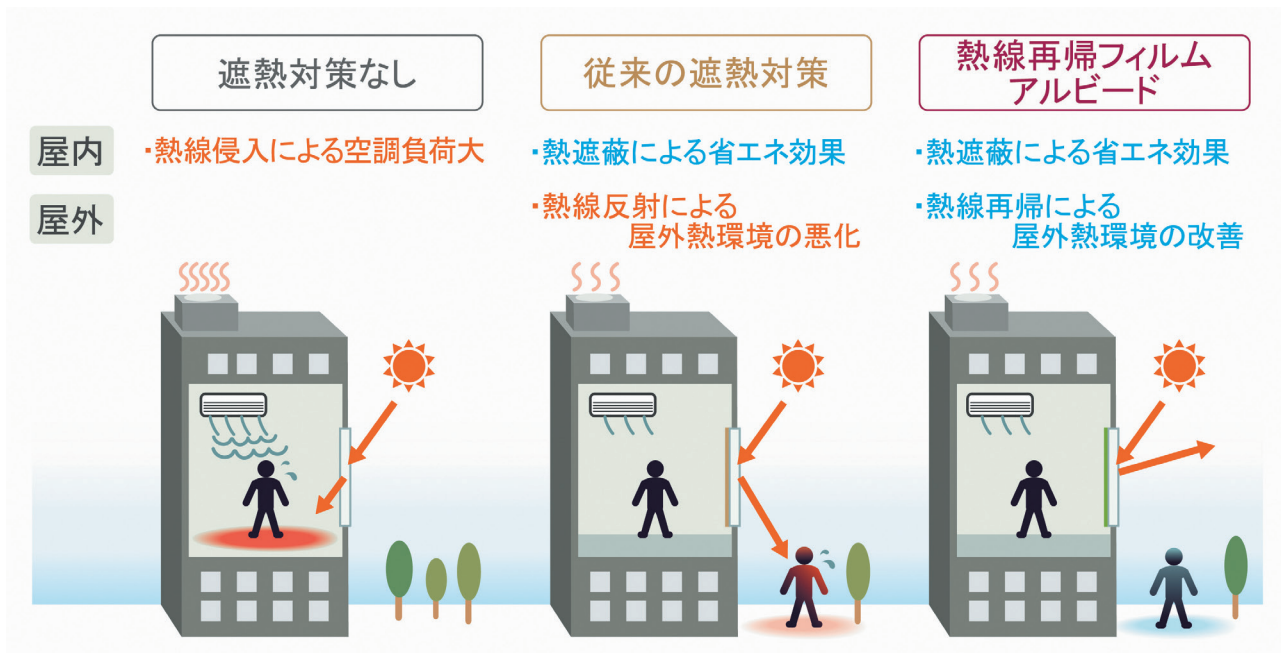
- ・教室内の暑さに関する測定(温度、湿度、黒球温度、暑さ指数等)
- ・グラウンドの暑さに関する測定(熱線の反射量等)

3 実測調査の取材について

本調査の取材をご希望の場合は、横浜市環境科学研究所宛(Tel: 045-453-2550)にお問い合わせください。

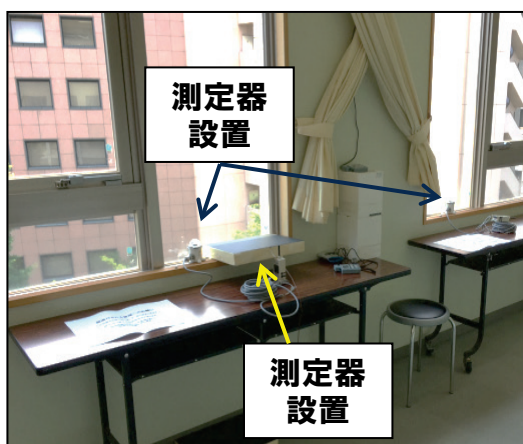
裏面あり

【参考1】 熱線再帰のイメージ

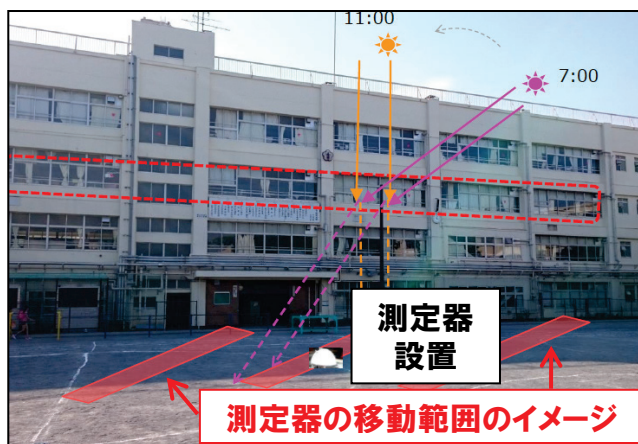


※熱線再帰とは、上方から入射する熱線を上方に反射する機能を指しており、必ずしも光の入射方向に向かって反射するものではありません。

【参考2】 熱線再帰フィルムによる暑さ対策の実測調査のイメージ



教室内的での測定実施イメージ



グラウンドでの測定実施イメージ

お問合せ先			
【調査全般について】	横浜市 環境創造局 環境科学研究所長	武田 正善	Tel 045-453-2550
【熱線再帰フィルムについて】	デクセリアルズ株式会社 新規事業営業部	大村 太郎	Tel 03-5435-3946
【横浜市との包括連携協定について】	株式会社JVCケンウッド 企業コミュニケーション部	広報・IRグループ	Tel 045-444-5310